



せいひ会だより

2019年（令和元年）
9月1日発行
＜第233号＞
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



長崎のお盆と言えば、精霊流し。今年は台風も重なり、引いて歩くのを中止する地域もあったようです。せいひ会でも歩き回することはできませんでしたが、皆で船を飾りつけし、送る準備を丁寧にさせていただきました。船に飾られた、鬼灯。提灯の役割もしているようですが、この鬼灯は笛にもなると、利用者の方に鬼灯笛の鳴らし方を教わりました。これがなかなか、難しい。令和最初の夏に耳に残る良い思い出になりました。

8月の行事

6日	誕生会	(通介)
10日	千日祭	(GH)
15日	精霊流し	(丘の家)
21日	夏祭り	(じゅげむ)
23日	GH運営推進会議	(GH)
5～31日	作品展示会	(風和)

9月の行事予定

9/10日	誕生日会	(通所介護)
13日	月見鑑賞	(風和)
14日	合同敬老会	(寿限無)
21日	敬老会	(風和)
25日	消防総合訓練	(寿限無)
未定	月見	(GH)
未定	敬老会	(各事業所)



8月2日、中山認定こども園の園児らが丘の家を訪れ、利用者の方と綿菓子作りに挑戦しました。中山認定こども園の夏祭りが7月下旬に行われる予定でしたが、台風大雨の為に中止となり、せいひ会も綿菓子の出店を準備していたもので、この機会にと園児たちも利用者もひと夏分の綿菓子を食べ、また、園児たちは、浴衣姿で綿菓子を頬張る絵を描いたりと交流のひと時を楽しみました。

8月いっぱい行われていた風和の里の展示会の様子です。お盆などで家族の訪問が多いこの時期に、施設での様子や利用者が作製した数々の作品を見ていただこうと掲示しました。利用者の皆様にも好評で長い廊下をじっくりと歩いて鑑賞されていました。



8月21日、じゅげむ納涼祭を行いました。かき氷や手作りの金魚すくい、射的と子どもも大人も楽しめる遊びに夢中になりました。

職員紹介



平成27年11月からせいひ中央クリニック看護師としてお世話になり、今年で4年目になります。外来に来られる皆様に笑顔で優しく丁寧な対応を心がけております。いたらない所もありますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

随 ず っ と り ば し

折り紙、最近いつ折りました？
かく言う私も千羽鶴の鶴を折ったのはいつだったかなと忘れてしまうほどでした。丘の家デイサービスで折り紙に触れる事が多くなり、今、私の中でマイブームになっています。はまっているのは「川崎ローズ」という薔薇の花の折り方ですが、これがなかなか難しいのです。折り紙を折ることの利点はなんといっても手先を使うので脳活に良い、そしてマインドフルネスの効果があると言われます。マインドフルネスとは自分の精神状態を注意深く観察でき、また、そのため

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。今月は通所介護の岡やよいさんです。

の瞑想などの意味をあらわすものですが、近年ではストレス軽減や自律神経を整えるという役割も果たしているそうです。一枚の平面な紙が切らず、貼らず、折りだけで形になり、何処でも持ち運びでき、折り紙を通してコミュニケーションも図れる優れものだと思います。日本が世界に誇れるものの一つではないでしょうか。折り紙は奥が深い。型を折れた時の達成感、そして精神が落ち着く効果があること。たかが折り紙されど折り紙、皆さんも折り紙折ってみませんか？



元亀の里
中村ヒサ様



元亀の里
太田隆士様



元亀の里
川本フジ様



元亀の里
石橋シズエ様



元亀の里
小西美恵子様



元亀の里
吉永澄子様



元亀の里
関谷タキ様



元亀の里
北村タツエ様



元亀の里
福喜ノブ子様



通所介護
田添ミチヨ様



グループホーム
松永艶子様



元亀の里
松野一見様



通所リハビリ
宇都和子様



寿限無
香田博様



寿限無
本多フサエ様



寿限無
中野安枝様



寿限無
沼田輝子様



寿限無
出口ヨシエ様



風和の里
小松九州男様

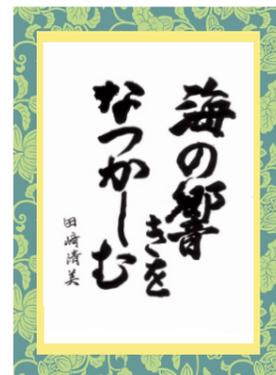


風和の里
井手カズエ様



風和の里
山本嘉子様

お誕生日 おめでとう



田崎清美様



秋浦克敏様



通所リハビリ共同作品



通所介護共同作品



松尾孝之様



渋谷アケミ様



荒瀬美智子様



じゅげむ共同作品



岡田コタカ様



風和の里
末岡恭代様

パーステイインタビュー

昭和8年8月30日、白崎郷の膝行神（いざりがみ）で農家を営むご両親より、3男3女の3番目に生まれたとの事。子どもの頃は、道草をしながら1時間以上かけて一里もある亀岳小学校まで通っていたそうで、「6年間学校を休んだことがない。健康だけには自信があった。」と話されました。学校卒業してからは佐世保に住み込みで働き、佐世保駅近くの呉服屋さんで店員をしていたそうです。「得意なそろばんを活かして反物を売りに早岐の方まで行っていた」との事。当時は女学生に大島紬が人気があったけど高かったそうです。23歳の時に知人の紹介で結婚。陸上自衛隊に勤務

されていたご主人は、真面目で優しい人だったけど、お酒が好きな人。2男1女の3人の子どもに恵まれました。平成6年の大日照りの年にご主人を亡くされ、その後は気を晴らすためにシルバー人材の仕事をしていました。「年を取ったら病気してしまって、みんなにお世話になってしまって。」と話す傍ら、「職員さんと話をしながら毎日楽しく過ごしています。今、楽しんでいつ楽しむと。」と笑って話をしてくれました。